

浴風会

6 月 号

令和元年 6 月 1 日発行
 【発行者】〒168-8510
 東京都杉並区高井戸西 1-12-1
 社会福祉法人 浴風会
 京極 高宣
 TEL (代表) 03-3334-2101
<http://www.yokufuukai.or.jp/>
 【編集者】露口 長
 【印刷所】株式会社サイド・ビー

社会福祉法人への期待

厚生労働省 社会・援護局長

谷内 繁



昨年七月に厚生労働省社会・援護局にまいりました谷内です。私は五年前にも社会・援護局を担当しており、平成二十八年に国会で成立した改正社会福祉法などにも携わらせていただきました。どうぞよろしくお願いたします。

社会福祉法人については、平成二十八年の社会福祉法人制度改革により、事業運営の透明性向上等の改革を進めてきました。浴風会の皆さまにおかれまして、この改革に積極的に取り組んでいただいておりますことを、御礼申し上げます。

社会福祉法人制度改革を進めることは、現在、厚生労働省が目指している「地域共生社会」の実現のためにも不可欠であります。

ご存じのとおり、近年、人口減少や急速な高齢化、地域社会の脆弱化等、社会構造が変化し、福祉ニーズも多様化・複雑化し

ています。そのため、地域住民が抱える様々な生活課題を解決につなげていくための包括的な支援体制の構築等を進めることが、目下の課題となっています。

こうした状況下で、改正社会福祉法では「地域における公益的な取組」の実施に関する規定を創設し、各社会福祉法人での取組をお願いしたところです。

例えば、社会福祉法人では、地域住民との日常的な関わりから、その地域で暮らす人々の多様なニーズを把握することができます。また、把握したニーズに対し、自治体や社会福祉協議会等、多様な機関と連携した支援を提供することで、社会福祉法人が包括的な支援体制の中核を担う機能を果たすことも可能です。このように、地域に根ざした社会福祉法人の取組は、「地域共生社会」の実現の一つの鍵となるものです。

また、社会福祉法人制度改革の一環として、社会福祉法人が

保有する財産に社会福祉充実財産が生じる場合には、その法人において社会福祉充実計画を策定し、同計画に基づいて既存事業の充実や新たな取組に有効活用する仕組みを構築したところです。社会福祉法人制度改革を踏まえて新たな経営改善にも取り組んでいただきたいと願っています。

浴風会は、基本理念として「地域との協働と社会貢献」を掲げており、また、二〇二五年の創立百周年に向けて「地域と共に未来を拓く」をスローガンに、数多くの地域貢献を行い、地域住民向けの出前講座の実施など、地域における取組に励んでいます。今後とも、杉並区における包括的な支援体制の中核として、「地域共生社会」の実現に資する積極的な取組をお願いいたします。

中庭のバラが見頃です。



福祉と暮らしのサポート拠点 ウェルファーム杉並

杉並区保健福祉部 杉並福祉事務所長
神保 哲也

昨年の春、へウエルファーム杉並複合施設棟が天沼三丁目にオープンしました。区民の皆さまの生活を幅広く支える、様々な相談機関が入っています。

建物の愛称、ウェルファームはどんな意味があるのでしょうか。区民の方からいただいた多くの応募の中から選ばれたものですが、WELLFirmのWはWellfare（幸福）、EはEverybody（誰もが）、LはLighthearted（気軽）、FはLife（暮らし）です。そして、ファーム（Farm）は、しっかりと植え付けるといったものです。つまり、この施設の愛称は「誰もが気軽に利用できる福祉と暮らしのサポート拠点」というコンセプトを表しています。

このコンセプトを実現するため、ウェルファーム杉並複合施設棟には就労や福祉、子育てや医療・生活の困り事などの相談機関が入っており、各機関が連携して、区民の皆さまの困り事を、縦割りではなく包括的に支援をしています。

例えば、認知症の80代の母親と何らかの障害が疑われる50代の息子の世帯。複合的な課題を抱えた世帯のコーディネート機関である在宅医療・生活支援センターが中心となり、施設内の相談機関と高齢者部門や障害者部門など関係機関を入れた支援会議を開催します。支援会議では、それぞれが把握している情報や支援可能なメニューなどを話し合い、

支援計画を策定し、世帯全体をサポートしています。また、経済的な困り事の相談では、福祉事務所と杉並区社会福祉協議会に委託している生活自立支援窓口「くらしのサポートステーション」が協力し、相談者の状況を丁寧に取り扱って、生活保護や就労支援など、相談者に適した支援を行っています。



ウェルファーム杉並 複合施設棟

誰もが気軽に利用できる福祉と暮らしのサポート拠点

しかし、ウェルファーム杉並の敷居が高い、天沼は遠いので行けない、という方もいると思います。このようにの方のため、今年の3月2日（土）に、浴風会病院と「くらしのサポートステーション」とが協力し、高井戸団地集会所において生活健康相談会を開催いた

しました。会場やチラシの配布などは都営高井戸自治会にもご協力いただき、浴風会病院の医師による健康に関する相談とともに、日常生活の様々な困り事の相談をお受けしました。このような地域での相談会は、なかなか相談に結びつかない困り事をお聞きする大切な機会と考えていますので、引き続きご協力をお願いいたします。

そして、令和3年度にはウェルファーム杉並複合施設棟の隣地に、200名規模の特別養護老人ホーム棟が開設の予定です。特別養護老人ホーム棟には、診療所や訪問看護ステーションも併設し、自宅での療養生活を支える体制も整えてまいります。

ウェルファーム杉並 複合施設棟

フロア	施設
4F	天沼区民集会所 (第1～第5集会所) (社福)杉並区社会福祉協議会 (杉並ボランティアセンター)
3F	消費者センター 在宅医療・生活支援センター (公社)杉並区成年後見センター
2F	杉並福祉事務所 获産事務所 (社福)杉並区社会福祉協議会
1F	就労支援センター くらしのサポートステーション (生活自立支援窓口) 子ども・子育てプラザ天沼
B1F	駐輪場、駐車場、災害備蓄倉庫

【駐輪場・駐車場】(利用時間：午前8時～午後10時)

- 駐輪場(無料：194台(施設用含む))
※子ども・子育てプラザを利用される方は、プラザ出入口東側の自転車・ベビーカー置場をご利用ください。
- 駐車場(有料：16台)

総合案内 案内コーナー 男子トイレ 女子トイレ
多機能トイレ 給湯室 エレベーター 階段

特別養護老人ホーム棟(2021年度開設予定)

- 医療的ケアが必要な方への対応が可能な区内最大規模の特別養護老人ホーム(定員200名以上。緊急時や軽度障害者にも対応するショートステイを含む。)
- 診療所 ●訪問看護ステーション
- 看護小規模多機能型居宅介護事業所などの機能を集約した施設を開設します。

浴風会の魅力

浴風会病院

副院長 宮沢 あかね



私は救急病院で手術中心の整形外科診療を行ったのち、1994年から1年半当院で勤務させていただきました。着任後、患者さんが超ご高齢で、手術中心の診療では十分貢献できないことが分かり当惑しました。そして、高齢化する社会に対応できる方法を学びたいと考え、全人的に高齢者を捉える学問である老年学を専攻するため、米国の公衆衛生学部大学院に留学しました。そこで高齢者対象の社会学、倫理学、経済学、政治学などを学び、地域での医療保健活動実施・研究方法を習得して帰国しました。

2001年から再度当院で非常勤医として働きながら、別所で公衆衛生学研究を行う予定でしたが、2004年の医学研修システム改革の影響で、当院整形外科医が一人となり、診療に専念せざるを得なくなりました。しかし、米国で学んだことを実践したいという考えは常にあり、院内施設・病院連携が有機的に行えればよりよい介護・医療が提供でき、地域に貢献できると思う場面もありましたので、2017年に伊藤院長、百瀬南陽園園長のご理解の下、病院施設相談員等連絡会議を立ち上げていただきました。

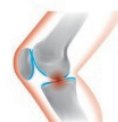


まず園ショートステイご利用者の診療改善に皆で取り組みました。在宅介護のレスパイトにはショートステイは欠かせず、その医療支援を当院が行う重要性を確認し、実行可能な診療システムを作り、ご利用者を18か月間で延べ350余名診療させていただき現在も診療継続中です。加えて連絡会議では災害時の病院施設連携にも取り組んでいます。

また、病院医局の特養ホーム看取り介護支援や、高井戸地域対象の在宅医療介護連携連絡会の運営にも携わらせていただいています。

これらの活動を通して、介護・医療複合体として地域介護医療に貢献できる浴風会の魅力を日々認識し、働く機会をいただきましたことをありがたく考えております。

これからも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



浴風会病院 健診センターの健康診断について

浴風会病院 健診センター

業務課長 立川 和則



浴風会病院 健診センターでは、4月より「生活習慣病健診」を実施しています。区民健康診査をはじめ部位別検診や脳ドックに加え、生活習慣病健診が受け頂けるようになりました。

個人で健康診断を受けになる方、就職等のための健康診断、労働安全衛生法の定めによる事業所等による従業員の健康診断が受けやすくなりました。

この度、全国健康保険協会管掌健康保険（以下「協会けんぽ」という）が実施している「生活習慣病予防健診」の受診も可能になりました。

この健診は協会けんぽにご加入している「被保険者」の方が受診対象となります。協会けんぽの健康診断をご受診頂く場合は年齢等により受診項目が異なりますので、項目等については協会けんぽへご確認ください。

また、当院で以前より行っている脳ドックは左記の通りご希望のコースを選択しお受け頂く事ができます。

- ① **基本コース**…脳の形態に特化した簡易脳ドックです。お忙しい方にお勧めです。
- ② **Aコース**…基本コースに頭のCT検査と脳波検査を加え、脳の機能変化を検査します。
- ③ **Bコース**…Aコースに生活習慣病が気になる方のために、血液検査を加えた健診内容です。
- ④ **Cコース**…通常の健診で血圧・脂質・血糖等で注意喚起されている方に頸動脈超音波検査が追加となっているためお勧めです。
- ⑤ **総合コース**…総合的に脳を検査・診察いたします。
- ⑥ **脳梗塞重点コース**…基本コースに頸動脈超音波検査を加え、脳梗塞に重点を置いた診察をいたします。

脳ドックの検査結果は脳卒中や認知症に精通した経験豊富な神経内科専門医が診断し、検査終了後に結果説明もいたします。

健診センターでご受診の際は予約制になりますので事前にご予約をお願いいたします。

健康診断についてのお問い合わせもお受けしていますのでお問合せ下さい。



浴風会の動き (5月)



本館前メダカ池のハスの花

【本部事務局】

16日 「会計監査人による監査」。

20日 日中国際交流協会2名見学。

23日 「苦情解決委員会定例報告会」開催。

24日 「地域ケアマネージャーとの交流会」開催(於第三南陽園)。(浅井)

浴風会ケアスクール

Caféオレンジリボンウッド

8日 よくふう語ろう会(認知症介護家族会) 19名参加。参加者のご希望に合わせてグループ分けをして、日頃の介護について語り合っています。どなたでもご参加できます。次回は6月12日(水) 10時30分から本館第三会議室にて開催します。

13・24日 cafeオレンジリボンウッド開店。来店者13日40名、24日75名。6月は10日(月)、28日(金) 11時30分〜15時 本館1階第三会議室にて開

店いたします。パン、焼き菓子、コーヒーの他素敵な小物の販売と、折り紙など一緒に楽しめる手作りコーナーもあります。みなさまのご来店をお待ちしております。(鈴木)

【老人福祉事業】

浴風園 (養護老人ホーム)

4・6日 端午の節句に合わせて「菖蒲湯」をお楽しみいただきました。

8日 「新茶会」を開催。テーブルには季節の花を飾り、牡丹の花をかたどった和菓子と新茶を皆様に味わっていただきました。(宮崎)

松風園 (軽費老人ホーム)

2日 「新茶会」。食堂に野点用の毛氈と番傘を飾り、職員が茶摘み娘に扮して、知覧茶の新茶を楽しんでいただきました。菓子は菖蒲の練り切りをご用意させていただきました。練り切りの微妙な色使いや新茶の香り・甘みが好評で、職員扮する茶摘み娘も好評でした。

5日 「端午の節句・菖蒲湯」。端午の節句に合わせて、数日前より食堂入口に兜を飾りました。昼食後など、兜を見ながらご自身の子ども時代や曾孫の節句などの話題で会話が進む様子も見られました。3日のお風呂には菖蒲を浮かべて、菖蒲湯も楽しんでいただきました。(宮中)

浴風会ケアハウス

7日 「端午の節句」。お昼はかつおのたたきがおかわり自由で、旬の味を楽しめました。

17日 「歩こう会」。11名参加され、上野の東京国立博物館で日本美術を鑑賞し、ホテルオークラレストランゆりの木でお昼を頂きました。



24日 「カフェケアハウス」。新茶の会とし、和風な催しになりました。(尾滝)

【介護保険事業】

南陽園 (特別養護老人ホーム)

4月29日〜5月4日 「菖蒲湯」。菖蒲には血行促進や保温効果があり、また、邪気を払う薬草とも言われています。

5日 「端午の節句」。昼食は太巻きと稲荷寿司、おやつに柏餅をいただきました。

12日 「新茶の会」。新茶の甘い香りと和菓子で季節を感じていただきました。

25日 「ボランティア交流会」を開催。ボランティアの皆様からいただいたご意見は今後の参考にさせていただきます。(丸山)

南陽園在宅サービスセンター

(認知症対応型通所介護)

今月は新しいご利用者を2名お迎えし、にぎやかに過ごしていただいています。

ます。

当センターでは、機能訓練の一環として、季節に合わせた工芸の作品を作っています。

5月には、こいのぼり・あやめの色紙を制作しました。また、引き続き梅雨の時期に向けて、アジサイの花を、いろがみの切り貼りで作成中です。



出来上がった作品は、ダイルールの壁に飾らせていただいています。さわやかな季節の風を運んでくれているようです。(鶴間)

★各事業のお問い合わせは随時行っておりますので、お気軽にご連絡下さい。

◎電話03-3334-2743 (鶴間・工藤)

第二南陽園 (特別養護老人ホーム)

4月25日 端午の節句に向け、富士見丘中学校生徒さん達とご利用者が一緒に鯉のぼりの貼り絵を作成しました。

2・4日 端午の節句を挟んで「菖蒲湯」を行ない、一年の無病息災を祈りました。

15日 「クッキング★カフェ」を開催し、ホットプレートで焼きクッキーとトリュフチョコを作りました。

24日 角笛幼稚園の園児が来園し、素敵な歌を披露してくださいました。

今月は、フロア毎に「新茶の会」を開催し、新茶の香りと和菓子で季節を感じていただきました。(山崎)

第二南陽園在宅サービスセンター

(通所介護、介護予防通所介護)

14日 「ピアノとアコーディオンのコンサート」を開催。懐かしいメロディもアコーディオンで奏でられると更に懐かしい感じになります。

27日 「ウクレレのコンサート」を開催。ハワイアンで夏を先取りです。

★☆見学のお申し込みやデイサービスへのお問い合わせは随時受け付けています。
◎03-3334-2140 (隈本)

第三南陽園 (特別養護老人ホーム)

25・4日 「菖蒲湯」。第三南陽園では端午の節句に合わせ、菖蒲湯を行います。ご利用者の方々は「もうそんな季節なのね」と菖蒲の香りを感じながら入浴を楽しみました。

19日 「新茶の会」。毎年5月には園全体で新茶の会を開催しています。この時期にしか楽しめない新茶独特の爽やかな味と香りをご利用者の皆様に楽しんでいただきました。茶娘となった職員が、1人1人心を込めて淹れさせていただきました。「いつもより美味しいわ」と笑顔が多く見られました。(佐々木)

グループホームひまわり

2日 「新茶の会」。お湯の温度に気をつけながら



新茶を淹れて、かしわ餅と一緒



にいただきました。「新茶はおいしいわね。おかわり頂戴。」とお話しが聞かれ、堪能されたようです。

3・5日 「菖蒲湯」。「端午の節句なのね」とお話しがあり、季節感を味わっていただきました。

15・22日 外食へ出かけました。お好きなものを選んでたくさん召し上げられ、帰りには花と緑の広場で、青空の下満開のポピーに囲まれて記念撮影を行いました。「きれいな素敵な色ね。」と笑顔で話されていました。(谷口)

【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア24高井戸

5月は、町会・自治会の総会シーズンで、担当区域の総会に参加させて頂いています。

昨今、町会の加入率は50%位で、逆に入っている方もメリットが無いと退会される方もいるという話をお聞きします。「メリット」とは、何を指すのでしょうか？

いくつかの総会に参加させて頂き、色んな人たちが暮らしているので、それぞれ考え方や価値観も違い、意見の食い違い等もありますが、「おたがいさま」という意識で、色々工夫をされているという事です。高齢者だけでなく単身者の増加に対しての見守り活動、認知症に関しての体操やカラオケ

等での予防を考えたり、自分の事だけでなく、地域で起こっていることに對して、自分事として考え、町会のあり方も模索していることがわかりました。

まさに、地域づくりの原点だと教えて頂きました。地域のことを色々考える事が、自分のまちの暮らしやすさに繋がり、それが自分にも返ってくるのが「メリット」だと思います。

町会で築いてきた繋がりを大切にしたい、町会だけに限らず、地域で起こっている様々な繋がりの輪を緩やかなネットワークで結び、地域包括ケアシステムができると良いなと思っています。(尾関)

杉並区地域包括支援センター

ケア24高井戸
◎電話03-3334-2495

【病院事業】

浴風会病院

今年度、当院の区民健診は7月16日(火)より開始となる予定です。杉並区、世田谷区、中野区の方が対象となります。例年より1か月ほど遅い開始時期になりますので、受診予約開始は6月下旬を予定しております。

お電話でのご予約は、月曜～金曜(祝日を除く)午前9時から午後5時までです。(中澤)

予約電話 浴風会病院(代表)
◎03-3332-6511

老健くぬぎ (介護老人保健施設)

10・17日 2階入所フロアにて書道クラブを開催しました。昨年秋季より月2回行っており、ボランティアの先生の指導で力強い字を書かれています。

13・18日 3階デイケアで「新茶の会」を行いました。丹精込めた新茶をお茶娘の格好をした職員が注いで回りました。爽やかな新茶の香りと味を楽しんでいただきました。

20日 3月より新たに「折り紙クラブ」を始めました。ボランティアの方々に来ていただき、入所者の皆さんと一緒に様々な折り紙を作成しました。

24日 ボランティアによるフルートコンサートを開催しました。毎月の恒例となっており入所者の皆さんは楽しみにされております。(森屋)

★入所・デイケア・ショートステイご利用のご相談はお気軽にご連絡ください。

◎03-5336-7701(代表)
◎03-5336-7734(入所)
◎03-5336-7704(デイケア)

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

13日 センター会議
27日 運営協議会開催
28日 3センター紹介DVD改訂ヒヤリング

1日付で、研究企画主幹1名採用しました。(村上)





つなげたい浴風会の今④

グループホームひまわり

「和気あいあいと共同生活を
楽しみながらの生活」

ホーム長 谷口 幸子



グループホームひまわりは、「生活の豊かさを高めつつ、その人らしい暮らしを継続できること」「快適な居住環境の中で仲間と共に尊厳のある暮らしができること」を理念として、安心して暮らしただけのように支援しています。



認知症の方が、スタッフの支援を受けながら、共に支え合って家庭的な環境の中で暮らし、その方が持つておられる能力に応じて、家事・食事作り、洗濯、掃除などの役割も担ってもらっています。家事の中でも特に料理作りでは、長年主婦をされてきたご利用者の見事な手さばきに、スタッフはいつも圧倒され、学ぶことだらけです。また、健脚な方も多く、天気の良い日は散歩に出かけて、気分転換をしながら脚力維持に励んでいます。なかには、6階にあるホームまで階段でスイスイと登られる方もおられ、とても平均年齢が90歳とは思えないお元氣さです。

2ヶ月に1回、運営推進会議を開催しています。ご家族をはじめ、地域の方々や地域のケアマネ、ケア24の職員などの皆様にお集まりいただき、運営についての報告やご利用者の日々の生活の様子をスライドなどでできる限りビジュアルにご紹介し、忌憚の無いご意見も頂戴して意見交換しています。会議で得た情報を活かし、商店街のお祭りや地域



イベントにも積極的に参加しています。ホームの行事では、季節ごとに「らっきょう作り」や、屋上庭園の畑で収穫したじゃが芋で「いも煮会」、地域の方をご招待しての「もちつき大会」や、お正月には「百人一首大会」等を開催しています。また、ご家族や地域の方々との交流を深めるためにも、ご家族と一緒に深大寺や近場の公園に外出したり、高井戸のスーパーへの買物や、わがまち一番体操への参加、幼稚園児や小学生と交流できるような場も設けています。また、行事や地域のイベント以外にも、日常生活の楽しみで笑顔が溢れるように、歌や書道、折り紙などの趣味活動や、屋上の家庭菜園で育てた季節の野菜で献立を考え、食卓を彩るなど、さまざまな活動を行っています。これからも毎日活氣があり、和気あいあいと暮らし続けたいただけるよう支援していきたいと思っています。



施設概要 グループホームひまわり

類型：認知症対応型共同生活介護

設立：平成14年

定員：18名

(9名ユニット×2)

対象：杉並区にお住まいの方
認知症の診断を受けている方
要支援2以上の方

編集後記

六月は、北海道を除く各地では梅雨の時期となります。「水無月」(陰暦の異称)とも呼ばれますが「水の月」の意味だそうです。ところで、六月は英語名ではJune(ジューン)といい、ローマ神話のユピテル(ジュピター)の妻ユノ(ジュノー)からとられたそうです。ユノが結婚生活の守護神であることから、六月に結婚式を挙げる花嫁は「ジューンブライド」と呼ばれるこの月に結婚すると幸せになるとも伝えられています。ヨーロッパでは、長い冬が終わり、花が咲き始める時期で、開放的な明るい気分にもさせるようです。

長い十連休は賛否両論もあったようですが、六月は唯一祝日がない月です。ただし、沖縄の戦闘が終結した六月二十三日を沖縄県は「慰霊の日」と定めています。全国民が忘れてはならない日です。

なお、先月号の巻頭写真を松風園前のスマイレと紹介したところ、スマイレではないと利用者の方から指摘がありました。スマイレ色の花はムラサキハナナ(シヨカツサイともハナダイコンともよばれる)のようです。訂正申し上げます。(一)

ご芳志

平成31年4月16日から5月15日

多くの方々よりご芳情をいただきました。

ありがとうございました。

〈金品・物品〉

宮沢 郁子様、田邊 勇治郎様

多田 操様、糸永 健一様

【ご意見をお寄せください】

〒168-8510※住所なしで届きます

機関紙「浴風会」編集部係

soumu2@yokufukai.or.jp

http://www.yokufukai.or.jp/